

松江地区保護司会機関紙

## と も が き

No. 96



ひまわりの刈取り

## 第73回「社会を明るくする運動」にあたり



松江地区保護司会

会長 佐々木 滋 子

松江地区保護司会会長を仰せつかりました佐々木でございます。もとより浅学非才な私ではございますが、多くの方々の支えや教えがあって、長年保護司を続けられたご恩返しと思い、その任に当たらせていただくことに致しました。微力ではございますが、精一杯の誠を尽くして参りますので、以前に増してのご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、7月には第73回社会を明るくする運動強調月間がスタートしました。コロナ禍により接触型の広報活動は控えておりましたが、今年5月にコロナが、「5類」に移行され4年振りに関係者が松江駅前に集い共に広報活動ができたことを大変嬉しく思っております。

私達は、コロナによって新たな生きづらさを突

き付けられ、さまざまな生きづらさを生きて来ました。そして人と人とは距離を取るのではなく、先ず声を掛け合い、支え合い、関わり合いながら生きて行くことの大切さを痛感しました。

貧困、虐待、孤立、依存、障がい等々、犯罪や非行の背景にもまた、さまざまな生きづらい環境があります。今コロナ禍を生きる私達は、実感しています。立ち直ろうと努力している人を温かく迎え入れ、各々の生きづらさを包み込み、共に生きて行くコミュニティの必要性を。

社明運動は、社会で暮らす人達が広く関わることで達成される取り組みです。この運動をきっかけに、一人一人が自分にできることは何かを考えて欲しいのです。そんなに難しいことではないはずです。先ずは笑顔で挨拶をしてみましょう。安心安全な明るい社会づくりはそこに暮らす人がどう生きているか日々の生き方の問題だと思うのです。

「三冠王！ おはようごめんね ありがとう」

(第73回社明運動標語 松江地区保護司会長賞)

## 第73回“社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

これまでたくさんの方々の御尽力を賜り、ありがとうございます。おかげさまで今年で73年目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会的孤立など、社会における様々な“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。その“生きづらさ”に寄り添い、人と人が互いに支え合うコミュニティを築くことこそが、安全で安心な明るい社会の実現につながっていきます。

本運動を通じて、保護司をはじめとする民間協力者、そして、地域の多くの方々に御理解と御協力をいただきながら、“生きづらさ”を抱える人、再出発を図ろうとする人を

受け入れることのできる、包摂的な社会の実現を目指し、犯罪や非行の防止と立ち直り支援に取り組んでまいります。

本年、第二次再犯防止推進計画が策定されました。新たな計画に基づき、国や地方公共団体が一体となって、再犯防止に向けた取組をより一層力強く推進していくことが重要です。

国民の皆様には、“社会を明るくする運動”の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない明るい地域社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福の黄色い羽根」のもと、本運動に御参加いただきますよう御協力をお願いいたします。

内閣総理大臣

岸田文雄



### 第73回「社会を明るくする運動」 にあたって

松江市推進委員会委員長

松江市長 上 定 昭 仁

松江地区保護司会の皆様には、日頃より犯罪や非行のない明るい地域社会を実現するため、更生保護活動にご尽力いただいておりますことに深く敬意を表します。

「社会を明るくする運動」松江市推進委員会では、去る7月3日にJR松江駅前で4年ぶりとなる街頭広報活動を実施し、強調月間のスタートを切りました。早朝から多くの構成団体の皆様に参加していただき、通勤・通学される

方々に本運動の趣旨をお伝えすることができました。

また、市内の中学生を対象とする本運動の標語募集に対して、今年は8つの中学校から72編の応募をいただきました。このうち優秀作品10編を、7月1日から12日までイオン松江ショッピングセンターに展示し、更生保護にかかる普及啓発の機会になったものと捉えております。

さらに、7月24日には、更生保護のシンボルであるひまわりの刈り取りと、市役所前での配布を行い、市民の皆様にもその思いを受け取っていただきました。

今後も、地域の皆様や構成団体の方々とともに、犯罪や非行のない安全で安心なまちづくりを推進してまいりますので、松江地区保護司会の皆様には、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。



### 第73回「社会を明るくする運動」 にあたって

松江保護観察所長

藤 井 淑 子

平素から、地域の皆様におかれましては、犯罪や非行のない安全・安心な地域づくりのために、ご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

松江市におかれては、市内の中学生の皆様へ標語への応募を通じて本運動への理解を深めていただいているほか、シンボルであるひまわりを育てて配布したり、松江城をシンボルカラーの黄色にライトアップしたりするなど、様々な広報を実施していただいております。

犯罪をした人の中には目に見えにくいハンデを持っている人が多いです。生きづらさを抱えているものの、既存の制度と制度の狭間に落ちてしまいがちだったり、家族もいろいろな問題を抱えていたり、自分からは福祉等につなげることができなかつたり、つながることができてもつながり続けることができずに、問題を解決するために犯罪という誤った方法をとってしまいます。犯罪をした人のほとんどは、遅かれ早かれいずれ社会の中に戻ってきます。更生するという気持ちがあっても、社会の中に居場所や仕事がないと、再び犯罪をしてしまいます。このため、人生をやり直そうとしている人たちを支援したり、温かい目で見守っていただければと思います。

引き続き、ご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



## 第73回「社会を明るくする運動」

## 入選標語

## 松江市長賞

偏見の レンズをはずすと マツエがお

島根大学教育学部附属 村上 結衣  
義務教育学校

## 松江保護観察所長賞

リスタート 社会で支える 更生の道

島根大学教育学部附属 片岡 睦 深  
義務教育学校

## 松江市教育委員会教育長賞

認め合おう 輝くみんなの オリジナル

松江市立第三中学校 川上 侑花

## 松江地区保護司会会長賞

三冠王! おはようごめんね ありがとう

松江市立湖南中学校 瀬崎 結音



応募対象者 松江市内中学校の生徒

応募数 市内中学校8校から校内選抜分72編

各賞審査 令和5年6月1日に開催した  
標語審査会において選考令和5年度  
松江地区保護司会  
理事会・総会・  
第1期定例研修

理事会及び総会を5月16日に開催しました。沢山の方々に参加いただきました。総会の後、第1期定例研修を行いました。



保護司会総会



理事会



第1期定例研修



# 第73回 社会を明るくする運動

## 松江駅前街頭活動及び各地区での啓発活動





東出雲



津田



大庭

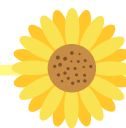


八雲



## 各部会紹介

松江地区保護司会の活動の一部を紹介します



### 犯罪予防活動部会

### 更生保護のシンボル「ひまわり」 今年も咲きました

7月24日に恒例行事となった「ひまわりの刈り取り」を行い、市民の皆様や関係機関に配布しました。

種まき、除草、水やり等多大なご支援とご協力を頂き、今回も池田ファーム代表の池田仁志様の畑で約500本のひまわりが見事に咲きました。池田様には深く感謝申し上げます。

当日は、松江地区保護司会犯罪予防部員、松江市長及び市職員、池田様、JA職員、津田交番所長、松江保護観察所長及び職員の皆様のご協力で刈り取りとラッピングを行い、市役所玄関前で松江市長と共に配布しました。暑い中ありがとうございました。(表紙写真)





## 研修部会



主に定例研修会の開催及び自主研修会の企画・立案を実施しています

## 情宣活動部会



機関紙「ともがき」の編集・発行を行っています

## 犯罪予防部会



JR 松江駅前及び各地区での街頭普及活動、ひまわりの刈り取り配布など実施しています

## 班長・副班長会議



今年度の活動等について各班長・副班長が集まり、実施に向けて協議をしています

## 新任保護司オリエンテーション



6月と12月に新任保護司に対してオリエンテーションを開催しています

## 井谷耕造保護司会会長退任



2期4年間保護司会会長としてご尽力頂きました。お世話になりました。

## 事務局より

企画調整保護司として、保護司会の運営・研修会の企画立案・機関紙「ともがき」の発行等を行っています。一緒にしませんか。

## 令和4年度自主研修会

「中学校との連携を考える」  
合同研修について

研修部会

2月23日松江市民活動センターにおいて行われた「中学校との連携を考える」合同研修会で、「NPO法人再犯防止サポートセンター愛知」高坂朝人理事長に講演をしていただきました。講師の先生は中学生の時、非行に走り暴走族になり鑑別所・少年院送致数回、その後暴力団準構成員になり、20代の時に暴力団から離脱、現在自身の体験をもとに少年少女の更生支援の活動をしておられます。保護司をはじめ更生保護女性会、BBS会員、中学校関係、民生児童委員、保護観察所その他の関係団体の参加をいただきました。参加をされた多くの方からアンケートに協力をいただき、その結果を報告します。

## 自主研修アンケート結果

参加された大多数の方からよかったとの回答をいただきました。その一部の感想です。

- 初めてこのような講演会に参加させていただき、状況の一端がわかりまして大変有意義なものとなりました。高坂理事長さんの体験に基づいた講演であり、わかりやすかったです。
- 立ち直りに関わったいろいろな方々の声かけ、励ましなどが長い間には心の中に蓄積したことがわかりました。コツコツやっていきたいです。
- 実体験をわかりやすく話していただきました。中1時点から素行悪化になっていく過程が興味深く、ある時から立ち直っていく様子がドラマチックでした。
- 自分の体験を次の同じようになる子に一生を捧げて立ち直る気持ちが大変よくわかった。愛知だけでなく他の県と組んでやる姿にエールを送りたいと思った。(社会の中で生きることの大切さ)を厚く感じた。
- 「人」、「活動法人」、「支援者」との出会いによって、更生・再犯防止のチャンスを・・・福祉、教育の現場の理解も今後進んで行くと思います。本日は、気づきをたくさんいただき有難うございました。

今後、お聞きになりたい講演等がありますか。

- 刑務官・検察官・裁判官などの講話
- 様々なケースで犯罪や更生に取り組んでおられる方の話を聞かせていただければありがたいです。
- 体験談や経験者の本当の声を聴くのは良いと思いました。
- 今日の講演にもありましたが、非行に手を染める子どもたちに高い率で何らかの障がいがあるとのこと。福祉をうまくつなげていくケースのお話を聞きたいです。



多数の御意見・御感想をいただきました。ありがとうございました。



## 新任保護司紹介

(令和5年6月1日委嘱)



吉岡 日出夫  
(1班 秋鹿町)

6月1日付けで就任しました。よろしくお願いいたします。

ケース活動に限らず、更生保護における様々な活動に際して、関係する人たちが安心して話し合える雰囲気づくりということを意識しながら、取り組んでいきたいと思っています。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 退任保護司

多年の業績に対し、心から敬意を表します。(敬称略)

山本 恭治(2班) 木幡 勝之(5班)  
(令和5年5月31日付) (令和5年5月31日付)

## 令和5年 栄えある春の叙勲

瑞宝双光章 佐藤 昭雄(4班)  
瑞宝単光章 安部 吉輝(9班)

## リレートーク

(38)

## まだまだ趣味にはほど遠く!

別所みさ子

今、私は時々畑仕事をしています。

母が亡くなり畑を管理する人がいなくなったのです。初めての畑仕事になります。

まず何をしたらいいかそこからのスタートでした。母が元気な時は「そら豆が沢山出来たよ、玉ねぎ・じゃがいもも出来たよ」と収穫を兼ねての手伝いだけだったので、それまでの過程がわかりません。元気な時に作り方を聞いておけばよかったと今になって思っています。

そら豆も沢山植えていたので、自分でもできるのではないかと思います植えてみましたが、どこがどう違うのか全くダメでした。

それでも今は、とりあえず玉ねぎ・ニンニ

ク・じゃがいも・サツマイモとあまり手のかからない野菜を植えています。これらは少しですが何とか収穫できています。初めは私一人で行っていたのですが最近やっと主人が手伝ってくれるようになり、今では私より畑に行く回数が多いのではないだろうかと思います。

利用していないところはほっておくと背丈以上に草が伸びてしまい大変ですが、草刈り機で主人が刈ってくれ助かっています。

自宅から畑まで車で30分かかるのですからこれから先いつまでできるのかわかりません。でも少しでも荒れ地にしないよう頑張っています。

今回は4班 小川廣教先生です。

## あとかき

異常な暑さが続く日本列島。7月の平均気温は過去最高だったとの報道もありました。気温35度を越えたくらいでは驚かなくなり、温暖化の波は私たちの感覚や意識にも影響を及ぼすようになってきました。そして課題解決に向けて多くの専門家が口を揃えて指摘するのが、一人ひとりの意識と行動の変容です。

各地域で行われている「社会を明るくする運動」や保護司会各部の活動は、一つひとつはささやかな活動であっても、それらの積み重ねが

人や社会を変え得る力になると信じて実践されています。そのように考えると、地球温暖化も更生保護も、解決へのプロセスは同根のように思われます。様々な機関や事業所に届けられる本機関紙が、広報・啓発の一助になれば幸いです。

最後に、今回の機関紙「とものがき」発刊にあたり、各方面から頂戴したご支援とご協力に対し、心よりお礼申し上げます。

(情宣活動部 吉野一郎)

当会は、松江市社会福祉協議会から配分を受けた篤志寄付金(香典返し等寄付金)を財源の一部として運営を行っています。